

矢臼別演習場における日米共同訓練
実施に係るオスプレイ使用に関する

要 請 書

矢臼別演習場周辺自治体協議会

我が国の国土防衛に日夜ご尽力されていることに敬意を表します。

さて、11月11日に日米共同訓練の概要が公表され、オスプレイを使用した訓練を矢臼別演習場で実施することが明らかとなったところです。

オスプレイは、その高い性能から、有事の際の軍事活動のほか、大規模災害発生時には被災者救助や物資輸送などへの活用に大きな期待がある一方、開発段階からの事故の発生や騒音振動等に対する住民の不安は未だ払拭できていない状況にあり、受け入れることはできませんが、訓練を行う場合は、安全対策はもちろんのこと、住民生活等に支障をきたすことのないよう、次の事項について特段の対処をしていただきますようお願いいたします。

記

1. 訓練内容の公表について、地域の実情に配慮の上、早期に行うこと。
2. 夜間訓練の有無を事前に公表するとともに、詳しい飛行経路の情報提供を行うこと。
3. 訓練に当たって、地域住民の安全・安心の確保を図るとともに、国の責任において徹底した安全対策を講じること。
4. 矢臼別演習場周辺では、多数の酪農家が営農しており、これまでも回転翼機の飛行により、大動物の暴走等が発生し被害が生じていることから、オスプレイの演習場外での低空飛行は行わず、飛行経路についても酪農家等に配慮した経路を選定すること。

5. 矢臼別演習場周辺でのオスプレイの飛行は前例のないことであり、周辺住民に与える影響については予想できない状況にあることから、国の責任において騒音測定を実施し、その分析等を行うこと。

令和3年11月12日

北海道防衛局長 石 倉 三 良 様

矢臼別演習場周辺自治体協議会

別海町長 曾 根 興 三

厚岸町長 若 狹 靖

浜中町長 松 本 博

標茶町長 佐 藤 吉 彦